

【テーマ2】 地域と職域における健康づくりの展開による「健康寿命の延伸」

めざす方向

- 大阪府民の健康寿命は全国と比較して低迷（H25年：男性43位、女性47位）していることから、健康寿命延伸プロジェクトの取り組み等により、全ての府民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現をめざします。
- 高齢期に発症する生活習慣病予防のためには、働く世代へのアプローチが必要であることから、保険者、市町村、民間事業者、関係部局等と連携し、特定健診等のデータ（*13）分析をもとに大阪の健康課題を明らかにします。
- 地域（市町村）と職域（中小企業）において、健康的な生活習慣の実践、健（検）診の受診による疾病の予防、健康への関心と理解の向上など、健康づくりの取り組みが幅広く展開されることにより、生活習慣病の予防を進め、府民一人ひとりの健康寿命の延伸をめざします。
（中長期の目標・指標）
・健康づくりに対する府民の意識向上と生活習慣病の早期発見・早期治療により健康寿命の延伸を図ります。

特定健診等のデータ分析による健康課題の明確化と課題を踏まえた健康づくりの展開

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H29.3月末時点）>
<p>■ 特定健診等のデータ分析と大阪の健康課題の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診や医療保険等のデータ(*14)を分析し、生活習慣病の予防など、大阪の健康寿命延伸に向けた課題を明らかにする。 ・データ分析の結果を各保険者にフィードバックするとともに、保険者、市町村、民間事業者等と連携して、特定健診受診率や受療率の向上など、それぞれの健康課題解決に向けた取組みを支援する。 	<p>◇ 活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険、協会けんぽの特定健診データなど、のべ350万人分のデータを分析し、各保険者に結果をフィードバックする。 ・データ分析により、明らかとなった課題の解決に向けた各種啓発資料を作成し、各保険者に配布する。 <p>◇ 成果指標（アウトカム） （定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ分析の結果を踏まえ、保険者、市町村、民間事業者等において、それぞれの健康課題に即して課題解決に取り組むことができる仕組みをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国民健康保険、協会けんぽの特定健診や医療費データ（348万件）の分析を行い、肥満や糖尿病など健康課題の明確化に取り組んだ。データ分析の結果をもとに、研修会等を活用し各保険者に対してフィードバックを実施。 ○データ分析結果に基づき、啓発資料を作成。今後、保健所や市町村等へ配布するなど、情報発信を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・府政だより3月号に啓発記事を掲載（280万部） ・ポスター、リーフレット等を作成し、府内全保健所、保健センター、市町村等、関係機関へ配布。 ○協会けんぽとの共催によるセミナーにおいて、糖尿病予防などの生活習慣改善をテーマとした講演を行うなど、働く世代の健康課題に応じた取組みを実施。

地域（市町村）における健康づくりの展開と府民への働きかけ

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	>	<何をどのような状態にするか（目標）>	>	<進捗状況（H29.3月末時点）>
<p>■ 地域（市町村）における健康づくりの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域において、健康的な生活習慣を実践するきっかけや継続的な取組みにつながるよう、住民の健康づくりにインセンティブを付与する市町村の健康マイレージ事業（*15）の立ち上げを支援する。 <p>■ 府民への働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりに無関心な層も含め、多くの府民が健康への関心を持ち、継続的に健康づくりに取り組んでもらえるよう、各種媒体を活用して、府民に対して健康情報を発信する。 ・情報発信にあたっては、連携先である民間企業や保険者等のネットワークを活用し、府民一人ひとりに届くような効果的な情報発信を行う。 <p>(スケジュール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康マイレージ補助事業の募集（4～6月） 	<p>◇ 活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府の補助により健康マイレージ事業に取り組む市町村数（27年度：9市町村→28年度：25市町村） ※補助対象となる市町村数：39 （国補助金を活用して事業を実施している市町村等を除く） ・健康づくりに関する情報を民間企業や保険者等の啓発紙、メールマガジン、各種イベント等を活用して発信する。 <p>◇ 成果指標（アウトカム） （定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府民が継続的に健康づくりを実践できる環境を市町村が整備する。 ・府民が自ら健康づくりに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康マイレージ事業に取り組む18市町（H28補助件数）に対し、府の補助を通じて立上げ支援を実施。 ・新規実施自治体数：H27 9市町、H28 10市町 ○実施自治体の拡大を図るため、検討中の市町村を個別に訪問し、実施市町の取組み事例や効果等を情報提供するなど、積極的な働きかけを行った。 ○健康づくりに無関心な層も含め、多くの府民が健康に関心を持ち、継続的に健康づくりに取り組むことができるよう、民間企業や保険者等との連携により啓発チラシやメールマガジン、イベント等の活用を通じて、情報発信を行った。 ・民間企業等と連携した健康づくりに係る取組み： 【連携先企業等】医療保険者、生命保険・損害保険会社、食品会社、製薬会社など計23団体 		

職域（中小企業）における健康づくりの展開と健康経営（*16）への働きかけ

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	>	<何をどのような状態にするか（目標）>	>	<進捗状況（H29.3月末時点）>
<p>■ 特定健診のデータ分析を活かした、特定健診受診促進の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会けんぽ大阪支部の特定健診データの分析をもとに、加入者の健康課題を明確にし、同支部にフィードバックを行う。 ・同支部と連携して、特定健診受診率や受療率の向上など、健康課題解決に向けた取組みを支援する。 <p>■ 事業者や健康管理担当者に対する健康経営への理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者（健康管理担当者）を対象に、健康経営をテーマとしたセミナーを開催し、経営の観点から従業員の健 	<p>◇ 活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会けんぽ大阪支部の38万人分の特定健診データを分析し、同支部に結果をフィードバックする。 ・データ分析により、明らかとなった課題の解決に向けた各種啓発資料を作成し、同支部を通じて事業者に配布する。 ・健康経営をテーマとするセミナーを開催する。 ・健康づくりアワード（職場部門）の応募事業者数（27年度：10事業者→28年度：15事業者） ・健康づくりアワードに係る情報を民間企業や保険者等のメールマガジン、各種イベント等を活用して発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○協会けんぽ大阪支部の特定健診や医療費データ（計82万件）の分析を行い、肥満や糖尿病など、健康課題を明確化。データ分析の結果をもとに、研修会等を活用し各保険者に対してフィードバックを実施。 （再掲） ○データ分析結果に基づき、啓発資料を作成。今後、保健所や市町村等へ配布するなど、情報発信を実施。 （再掲） ○協会けんぽ大阪支部や民間企業等と連携のもと、健康経営をテーマとしたセミナーを開催し、健康経営への 		

康づくりに取り組むことの意義や必要性について理解促進を図る。

- ・第 2 回大阪府健康づくりアワード(*17)を実施し、具体的な取り組み事例の掘起しと情報発信することで、健康経営の実践を促す。
- ・協会けんぽ大阪支部、民間企業との連携のほか、経済産業省が進める健康経営優良企業認定の取り組みとも連携し、より多くの事業者に参加してもらえるよう、効果的な周知を図る。

(スケジュール)

- ・健康づくりセミナー開催（年度後半 3 回開催）
- ・健康づくりアワード応募団体募集（年度前半）
- ・表彰団体決定、表彰式開催（年度後半）

◇成果指標（アウトカム）

（定性的な目標）

- ・府内における「健康宣言する中小企業※」が増加する。
※健康経営に関する必要な項目を実行する意思表明を行った企業（日本健康会議において 28 年度より実施）
- ・特定健診の受診環境の整備など、事業者が従業員の健康づくりの意義や必要性について理解し、環境を整備する。

理解促進、職場の健康づくりの働きかけを実施。

（計 7 回、参加者計 1,390 人）

- ・経済産業省(H28 年 10 月)や近畿経済産業局(H29 年 2 月)主催のセミナーへの協力
（計 2 回、参加者計 423 人）
- ・大塚製薬(株) (H28 年 11 月) や損害保険ジャパン日本興亜(株) (H28 年 12 月) とのセミナー共催
（計 2 回、参加者計 269 人）
- ・協会けんぽ大阪支部とのセミナー共催
（H29 年 2 月、計 3 回、参加者計 698 人）

○第 2 回健康づくりアワードを実施し、生活習慣病予防など職場における健康づくりの優れた取り組みを表彰するとともに、取り組み事例の情報発信を行った。

- ・募集期間：H28 年 7 月～10 月
- ・応募件数：職場部門 16 団体、地域部門 20 団体
- ・表彰式：H29 年 2 月（グランフロント大阪）
- ・表彰件数：職場部門 8 団体、地域部門 8 団体

【部局長コメント（テーマ2総評）】

＜取組状況の点検＞

全ての府民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現に向けて、健康寿命延伸プロジェクト事業等に取り組みました。

事業の実施にあたっては、各保険者や市町村、企業等との連携を図り、府民の健康課題の明確化とその普及啓発、健康マイレージ事業の働きかけ、健康経営の実践の働きかけなど、地域（市町村）や職域（中小企業）での健康づくりの取組みを幅広く進めることで、当初の目標をほぼ達成することができました。

- 「特定健診等のデータ分析による健康課題の明確化と課題を踏まえた健康づくりの展開」
当初の目標を達成することができました。
 - ・特定健診や医療費のデータ分析をもとに、肥満や糖尿病など、健康課題を明確にして、各保険者や市町村等へフィードバックに取り組むとともに、糖尿病のリスクについて府民への情報発信を行い、啓発を図りました。
- 「地域（市町村）における健康づくりの展開と府民への働きかけ」
当初の目標を、ほぼ達成することができました。
 - ・健康マイレージ事業については、今年度新たに10市町が実施するなど、延べ19市町が地域の実情に応じて事業を立ち上げており、府民の健康づくりのきっかけができるよう、インセンティブを活かした取組みを進めました。
- 「職域（中小企業）における健康づくりの展開と健康経営」
当初の目標を達成することができました。
 - ・保険者や民間企業等との連携のもと、健康経営セミナーを通じて、健康経営の実践を働きかけるとともに、職場等において優れた健康づくりに取り組む企業・団体を表彰する「健康づくりアワード」を通じて、具体的な取組み事例の掘起しと情報発信を行いました。

＜今後の取組みの方向性＞

引き続き、健康寿命延伸プロジェクトの推進を通じて、府民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現をめざします。

円滑な事業運営に向けて、各保険者や市町村、企業等と連携しながら、地域（市町村）や職域（中小企業）での健康づくりの取組みを幅広く進めるとともに、健康寿命の延伸には、働く世代のうちから生活習慣を改善することが効果的であることから、職場における健康づくりを支援する取組みを拡充して実施します。

- 「特定健診等のデータ分析による健康課題の明確化と課題を踏まえた健康づくりの展開」
 - ・引き続き、特定健診等のデータ分析を行い、健康課題の明確化とあわせ、課題の継続的な把握に努めます。また、データの分析結果をもとに、健康課題の解決につながるよう、各保険者等への支援・助言を行うとともに、特定健診受診率の向上など、府民の生活習慣病の予防や医療費適正化に向けた効果的・効率的な取組みを進めます。
- 「地域（市町村）における健康づくりの展開と府民への働きかけ」
 - ・引き続き、健康マイレージ事業を実施していない市町村に積極的に働きかけ、インセンティブを活かして府民の健康づくりを進める市町村を支援します。
 - ・また、多くの府民が健康に関心を持ち、継続的に健康づくりに取り組むことができるよう、民間企業等との連携を強化し、府民への効果的な情報発信を行います。
- 「職域（中小企業）における健康づくりの展開と健康経営」
 - ・引き続き、関係団体や民間企業等と連携し、健康経営セミナーや健康づくりアワードの開催等を通じて、職場における健康づくりを支援することにより、特定健診受診率の向上など、働く世代の生活習慣病の予防を進めます。
 - ・職場における健康課題は業種によっても異なることから、業種や仕事の内容に応じた健康づくりの取組みモデルを構築し、普及啓発を図っていきます。